

① 次の (1)～(5) のつめる適当な言葉を考えて、ひらがなで書きなさい。ただし、一マスはひらがな一文字を表します。

(1) 星が夜空に 。神秘的で美しい。
 (2) 霜が庭に 。あたり一面真っ白だ。
 (3) 雨上がりの空に虹が 。きれいだ。
 (4) 落ち葉が風に 。寒くて心細い。
 (5) かみなりの音が 。こわくてふるえる。

(お茶の水女子大学文教育学部附属中学校)

(5)	(3)	(1)
	(4)	(2)

② 次の (1)～(5) のに入る漢字をふくむ熟語を選び、例にならって答えなさい。

例 異口同 声

(1) 門 開放
 (2) 前代未 知
 (3) 一 言 一 句
 (4) 年 序 列
 (5) 明 正 大 義

ア コ 体 イ コ ウ 級 ウ コ ウ 害
 エ コ ウ 線 オ ハ ン 省 カ 質 モ ン
 キ 雨 ド ク 成 コ ウ ケ 新 ブ ン
 コ 折 パ ン サ オ ン 楽

(青山学院中等部)

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

③ 次の (1)～(5) の語句で使われている「手」はア～コ のどの意味にあたりますか。

(1) 手を切る (2) 手をつくす
 (3) 手のかかる子 (4) 二手に分かれる
 (5) 山の手

ア 腕前 イ 仕事をする力
 ウ 組とか隊 エ わざ、とか策略
 オ 手数とか世話 カ 方向とか方角
 キ 手段とか方法 ク 交際とか関係
 ケ 自分でつくったもの
 コ 人の手のように働くもの

(青山学院中等部)

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

④ 次の (1)～(10) までの熟語を反対語にするには、一線の漢字をア～ソのどの字にかえればよいですか。

(1) 休日 (2) 満腹 (3) 専有 (4) 悪評
 (5) 遠心 (6) 得意 (7) 幹線 (8) 終点
 (9) 好調 (10) 否決 (11) 幹線 (12) 終点

ア 支 イ 不 ウ 本 エ 求 オ 失
 カ 共 キ 平 ク 好 ケ 公 コ 起
 サ 可 シ 未 ス 初 セ 空 ソ 善

(青山学院中等部)

(6)	(1)
(7)	(2)
(8)	(3)
(9)	(4)
(10)	(5)

⑤ 次の [] に適切な漢字一字を入れ、表現を完成させなさい。

例 気が [済] む

1 気に [] む 2 気に [] める
 3 気を [] る 4 気を [] す
 5 気が [] れる

(慶応義塾普通部)

1
2
3
4
5

⑥ 次の [] 線部を漢字に直しなさい。

不[]道路のふっ[]きゅう[]作業。
 社会ほ[]しょう[]制度の発達。
 テニス[]のラケットにはきか[]がある。
 彼の意見をし[]します。
 フランス訪問し[]せつ[]団。
 こうせい労働省は国の機関である。
 けいせい[]は不利である。
 子どもをたいしょう[]とした番組。
 かくだんの違いがある。
 クーラーのあるかいてきな教室。
 しつぎ[]応答の時間。
 実験の結果には[]ごさがある。
 かいしんの演技で満足そ[]な顔をする。
 あらゆることにせい[]つつ[]している先生。
 難しい仕事に若手をとう[]ようする。
 超満員のかんしゅう[]でうま[]った競技場。
 祖父はなくなる前にゆいごん[]をのこ[]していた。
 アユつりがい[]ぎん日[]が近づ[]く。
 授業で多くのことをきゅう[]しゅう[]する。

① 次の文中のカタカナの語を漢字で書きなさい。
 新しいジヨウホウが入るのを待つ。
 自分の考えをはっきりシユチヨウする。
 この問題のかいけつはヨウイではない。
 実力を十分にハツキする。
 文化祭のシヨウタイ状を送る。
 (女子学院中学校)

② 次の各文の——線をつけたカタカナの部分、漢字で書きなさい。
 1 高原野菜をシユツカする。
 2 会場はナゴやかな雰囲気に満ちていた。
 3 道路ヒヨウシキに従って、右に曲がる。
 4 葉のフクサヨウに注意する。
 5 思わず目をソムけたくなるような場面。
 6 平和の大切さをキョウチヨウする。
 7 結婚した二人のカドデを祝う。
 8 彼はなんでもできるバンノウ選手だ。
 9 富士山でキシヨウ観測を行なう。
 10 ブームにビンジヨウした商品を売る。
 11 アヤツリ人形を使った劇を見る。
 12 石油など、限られたシゲンを大切にする。
 13 この車は乗り心地がよく、カイテキだ。
 14 プレゼントでテアみのセーターをもらった。
 15 この回の攻撃でイツキヨに四点入った。
 16 私と彼とは何事にもキノい合うよきライバルだ。
 17 昔は月の満ちかけをもとにしたこよみがあった。
 18 むだ使いをやめて、すこしはセツヤクしなさい。
 19 避難訓練では整然とスミヤカに移動すること。
 20 試合は雨のため、明日にジユンエンされた。
 (桐朋中学校)

7	5	3	1
8	6	4	2

19	17	15	13	11	9
20	18	16	14	12	10

③ 次の各問いに答えなさい。
 A カタカナの部分を漢字にして書きなさい。
 1 きずを1ナオす。 三千円の2ソンガイ。
 2 3センレンされた表現。 目が4サめる。
 3 せんたく物を5ホす。 目が4サめる。
 4 6チイキの水7シゲンを大切にする。
 5 重荷を8オう。 文集に作品を9オサめる。
 6 10サガシ物をする。 おばあさんと11マノ。
 7 雑誌の12ソウカン号。

11	9	7	5	3	1
12	10	8	6	4	2

B 次の字のよみ方を訓よみで二とおり、書きなさい。

<p>代 代える</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>える</td> </tr> </table>		える	<p>平 平ら</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>ら</td> </tr> </table>		ら
	える				
	ら				
<p>直 直す</p> <table border="1"> <tr> <td>ちに</td> <td>す</td> </tr> </table>	ちに	す	<p>間 間</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		
ちに	す				

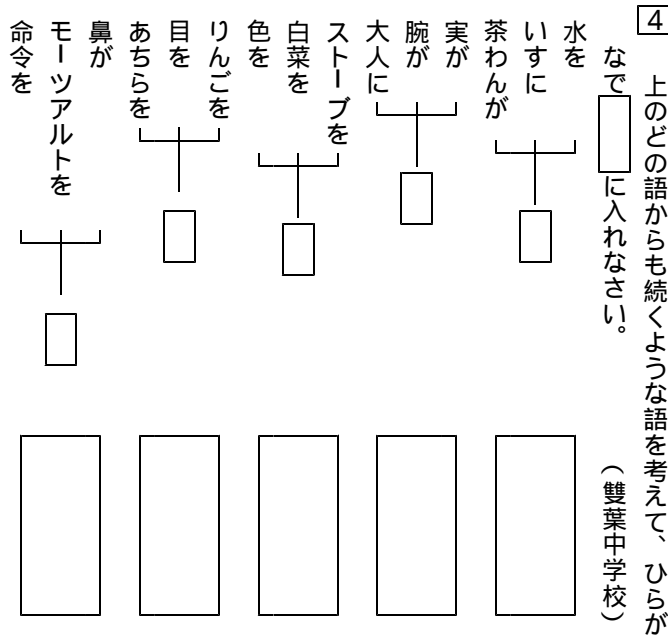
(雙葉中学校)

(5)	(3)	(1)
	(4)	(2)

- 6 次の各文の——印のカタカナを漢字に書き改めなさい。
 (東大寺学園中学校)
- 1 宿題がスんでから、遊びなさい。
 - 2 はずかしさのあまり、顔がコウチヨウした。
 - 3 全員ぶじというロウホウが届いた。
 - 4 食事が終わったら、そのツド薬を飲みなさい。
 - 5 相手のイコウを確かめる。

C	B	A

- 5 文の内容を変えないで、()内の指示に従ってA・B・Cの文を書きかえなさい。
 (雙葉中学校)
- A 今年は暖冬だそうだ。 () ——線の語は使わずに
 B 菜の花しか咲いていない。 () ——線の語は使わずに
 C 山田君がボールを投げたら、ボールはプールに落ちた。
 () 山田君の「と」が出だして



- 8 次のA群と同じ関係になるように、B群の()の中にあてはまることばを書きなさい。
 (静岡県西遠女子学園中学校)
- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| | | |
- A群
- 1 美しい——美しさ
 - 2 公開——非公開
 - 3 原因——結果
- B群
- 1 長い——()
 - 2 完成——()
 - 3 安全——()

- 8 (1) 次の熟語と同じ組み立てになっている熟語を、ア～オの中から選び、記号で答えなさい。
- | | | |
|------|------|------|
| 1 損得 | 2 耕地 | 3 着席 |
| ア 増加 | イ 入学 | ウ 無限 |
| オ 鉄橋 | | エ 明暗 |

(13)	(11)	(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
	(12)	(10)	(8)	(6)	(4)	(2)

- 7 次の——線のついた漢字にはふりがなをつけ、カタカナの部分は漢字になおしなさい。
 (佐賀大学教育学部附属中学校)
- | | |
|-------------------------|------------|
| (13)(11)(9)(7)(5)(3)(1) | (2) |
| 新しい提案 | 句読点をつける |
| 眼下を見おろす | 店に群がる |
| 招待を断る | ノワリツのあがる方法 |
| 自然をホゴする | 結果をホウコクする |
| みんなにシヨウサンされる | ケワしい山々 |
| やさしい問題 | 水害にソナえる |
| おしくも小差でヤブレた | |

1
2
3
4

- 3 お客様 ていねいにおむかえする
4 お客様 お供をさせていただく。

問五 次の()の中に入る最もふさわしいことばを後から選びなさい。

- 1 あなたのお父さんのお名前は何と) 1 (ますか。
 - 2 先日、駅で先生のお姿を) 2 (ました。
 - 3 お客様からお年玉を) 3 (ました。
 - 4 このねこは、タマと) 4 (ます。
- ア ください イ 拝見し ウ おっしゃい
エ いただき オ 申し上げ カ くらんになり
キ おめにかかり ク いい

1
2
3
4

問六 次の 中 に ひらがな を 一字ずつ入れて、下の 中のことばと同じ意味にしなさい。

- 例 手をヤク (もてあます)
1 鼻に (じまんする)
2 息を (はつとする)
3 目を (めんどろをみて、かわいがる)
4 歯が (とてもかなわない)

4	1
	2
	3

(愛知淑徳中学校)

5 の語の意味をそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

- とりとめない
ア 見ている方が不快になるほど見苦しいこと
イ まとまりがないこと
ウ おさえとどめることができないこと
エ とるに足らない、問題にもならないこと
切ない
ア とほうもなく困っている気持ち
イ 期限がさしせまって追いつめられているような気持ち
ウ 胸がしめつけられるような気持ち
エ どうしようかと、迷っている気持ち

(金城学院中学校)

6 次の1～4の四字熟語には、それぞれ誤字が一字ずつあります。その一字を抜き出し、正しい字を書きなさい。
(郁文館中学校)

- 例 異句同音 句 x
1 言語同断 2 口答試問 3 短刀直入
4 決戦投票

3	1
	2
4	

7 次の1～5の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。
(佼成学園中学校)

- 1 秋はテンラン会の季節だ。
- 2 彼のセイケツな人がらにひかれる。
- 3 彼はひどくコウフンしていた。
- 4 人事のサツシンをはかる。
- 5 ロケットのネンシヨウ実験を行う。

4	1
	2
5	3

8 次の ー の——線をつけたカタカナを漢字に改め、ー の漢字のよみをひらがなで書きなさい。

- 海で働くリヨウシ。
せまい道をカクチヨウする工事。
文章の一部をシヨウリヤクする。
台風でカオクがたおれる。
むだなことはハブク。
絵画を楽しむ。
ゆだんは禁物だ。
細工をこらす。
発作をおこす。
生糸の産地。

(国府台女子学院中学部 改題)

① 次の各問いに答えなさい。
 (1) 次のことわざのうち、意味のよく似たもの同士を組み
 合わせ、記号で答えなさい。

- 1 ぬかにくぎ
- 2 急がばまわれ
- 3 うそから出たまこと
- 4 念には念をいれ
- 5 せいては事をしそんじる
- 6 ぶたに真珠
- 7 とつぶにかすがい

(2) 次の——線部の熟語の意味を打ち消すためには()
 内にどんな漢字を入れたらよいですか。

- 1 () 科学的
- 2 () 分別

--	--

(金城学院中学校)

② 次のカタカナ部を漢字で書きなさい。
 これといったトクサクはないものか。
 (1) 犯人のキョウジュツによれば、その日は雨だった。
 (2) すぐれたギョウセキを残す。
 (3) 駅とのオウフクで疲れた。
 (4) 首相シユウニンのあいさつ。
 (5)

(4)	(1)
(5)	(2)
	(3)

(共栄学園中学校)

③ 次の——線部分の「あたる」の意味は、ア～オのど
 れになりますか。記号で答えなさい。
 1 人間の手足にあたる魚のひれ。
 2 むずかしい場面にあたる。
 3 その仕事には私があたる。

- ア 成功する
- イ 直面する
- ウ 的中する
- エ 従事する
- オ 相当する

(静岡県西遠女子学園中学校)

1	
2	
3	

④ 次の文について、次の問いに答えなさい。

彼は 大変な いたずらぼうずで、先生の 注意にも
 A を貸さない。まったく「のれんに B おし」の状態
 だ。
 1 A・B には、人間の体の部分を表わした言葉
 が入ります。Aは漢字で、Bはひらがなで答えなさい。

1	2
---	---

2 ——はこの文の中でどのような役割をもつ言葉です
 か。次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 主語
- イ 述語
- ウ 修飾語
- エ 接続語

--

3 ——は、二つの言葉があわさって一つの単語になっ
 たものですが、どのようなグループの言葉があわさって
 できた単語ですか。次の中から選んで、記号で答えな
 さい。

- ア 名詞と形容詞
- イ 名詞と名詞
- ウ 形容詞と形容詞
- エ 動詞と形容詞

--

4 ——の言葉と同じ組みたての熟語を、次の中から選
 んで、記号で答えなさい。
 ア 読書
- イ 加減
- ウ 生産
- エ 良心

--

(金城学院中学校)

⑤ 次の——線1～5のカタカナを漢字に直しなさい。
 また——線6・7の漢字の読みを答えなさい。

- 人に1 コウガイししないと約束した。
- 両者の2 イドウを述べる。
- 障害物を3 ノゾク。
- よく4 コえた土地。
- 料理が5 サめる。
- 車に6 便乗する。
- マメの7 発芽。

(実践女子学園中学校)

7	4	1
	5	2
	6	3

(1) 6 次の各問いに答えなさい。
次の1～5の条件にあてはまることを、後のア～コの中からそれぞれ二つずつ選び、その記号を答えなさい。(同じものは一度しか使えません)

- 1 上の字を音で、下の字を訓で読む熟語。
 - 2 上の字を訓で、下の字を音で読む熟語。
 - 3 上の字と下の字を入れ替えて読むと訓読みから音読みに変わる熟語。
 - 4 上の字と下の字を入れ替えても意味がほとんど変わらない熟語。
 - 5 上の字と下の字を入れ替えると意味が変わる熟語。
- ア 苦労 イ 水着 ウ 行進 エ 親身
オ 野原 カ 手本 キ 素質 ク 仕事
ケ 習慣 コ 指図

4	1
-----	-----
5	2
-----	-----
	3

(2) 次の――線1～4の漢字について、正しい使い方にはをつけ、まちがった使い方をしているものは正しく書き直しなさい。

- 心 1 氣一転 百メートル競 2 争
3 検討する 未 4 青年

1
2
3
4

(3) 次の1～4の文の()の中に、それぞれ数を数える言葉として最もふさわしい言い方を、ひらがなで入れなさい。

- 1 子イヌが一() 生まれた。
- 2 一() の大きな貨物船が港に入る。
- 3 湯どうぶのなべにとうぶを一() 入れた。
- 4 いすを五() 選んでください。

(実践女子学園中学校)

1
2
3
4

(1) 7 次の(1)～(3)の問いにそれぞれ答えなさい。
次の傍線部の漢字の読みかたを答えなさい。

- 1 漢方の丸薬を飲む。
- 2 銀行の口座にお金をふりこむ。
- 3 走り高とびは背面とびの方が記録がいい。
- 4 派手な服装。
- 5 賃貸マンションの広告

1
2
3

4
5

(2) 次の漢字の音は、どの部分はその漢字の音を表わしているか。例にならってその音を表わしている部分を答えなさい。

- 例 測 則
- 1 裏 2 菜 3 起
4 鉄 5 園

1
2
3
4
5

(3) 次の1～5の熟語のうちカタカナにあたる漢字を()内に書かれた熟語の意味を参考にして答えなさい。
1 千八鶴 (折り鶴を数多く糸に通して連ねたもの。病気全快など願懸けに用いることが多い。)
2 コウ海 (各国が自由平等に航行できる海洋。)
3 山チヨウ (山のとつぺん。)
4 ボウ読み (文章を読むときに調子を変えたりくりをつけたりしないで一本調子で読むこと。)
5 イ性 (男から女を、女から男をさしている語。)

(湘南学園中学校)

1
2
3
4
5

8 次の(1)～(8)の漢字と、それぞれ反対の意味をもつ漢字とで二字の熟語を作り、さらにその読み方をひらがなで書きなさい。(1)～(8)の漢字は上、下どちらに用いてもよい)

(8) 興	(7) 横	(6) 玉	(5) 難	(4) 可	(3) 取	(2) 給	(1) 軽

(世田谷学園中学校)

① 次のそれぞれの文の——線のある語句の意味として、最も適当なものを()の「ア」～「エ」から選び、記号で答えなさい。

- 1 原案を可決する。
ア よいときめる
イ よしあしをきめる
ウ きめるように命令する
エ なるべくした方がよいときめる
- 2 答えの暗示を与える。
ア それとなく教える。
イ ていねいに教える。
ウ くらい所で教える。
エ こっそり呼んで教える
- 3 意見を識者に聞く。
ア 名のよく知れた人
イ 知り合いの人
ウ 知ったかぶりをする人
エ ものごとのよくわかった人
- 4 腹案をねる
ア 腹がまえ
イ 心の中にもっている計画
ウ 他人の考えにもとづいた案
エ 二回目の考え
- 5 眼目を置く
ア 目に一番重点を置く
イ 目で見えた漢字を大切に
ウ 一番大事なもの
エ 一番大きな目的となる点

(昭和学院秀英高等学校附属中学校)

- ② 次のカタカナの部分の漢字に直しなさい。
- 1 シュウニンのあいさつをする
- 2 ショウジに映るかけ
- 3 すばらしいコウソウの作文
- 4 彼は音楽のソヨウがある
- 5 写真をカクダイする
- 6 人生にコウエキな書物
- 7 遠足の計画をネる
- 8 素直にアヤマる
- 9 荷物をカツク
- 10 代表として友人をオス

(東京女学館中学校)

4	1
5	2
6	3

10	7
	8
	9

③ 次の——線部の漢字に読みがなをつけなさい。

- (1) 設備を拡張する。
- (2) 静かな雑木林。
- (3) 来客を歓迎する。
- (4) 閑静な庭。
- (5) 貿易赤字。
- (6) 門戸を開く。

(日出女子学園中学校)

--	--	--	--	--	--

④ 次の(1)～(10)の——線の漢字の読みがなを書きなさい。

- (1) 美しい反物
- (2) 夕日に映える
- (3) 必死の形相
- (4) 公の集会
- (5) 若々しい息吹
- (6) 所望の品
- (7) 琴を奏でる
- (8) 不精な性格
- (9) 責任を全うする
- (10) 目の当たりに見る

(青山学院中等部)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- 5 次の——線部のカタカナを漢字になおしなさい。
 交通イジ。ハンダンに苦しむ。会議で「ウウロン」する。
 (1) チンタイ住宅。
 (2) センモンの医師。
 (3) 生命ホケン。
 (4) 日出女子学園中学校

(4)	(1)
(5)	(2)
(6)	(3)

- 6 次の(A群)～(B群)の□に漢数字を入れると、ことわざ、故事成語、慣用的な表現が成立します。□内に入る数字を考え、それぞれの群ごとに合計を出して、算数数字で答えなさい。

- (A群)
 仏の顔も□度まで
 歩百歩
 日の長
 □のあしを踏む

- (B群)
 面楚歌
 四苦□苦
 人のうわさも□日
 里の道も一歩から

- (C群)
 人よれば文殊のちえ
 兎をおうものは一兎をもえず
 大海も□滴の集まり
 一寸の虫にも□分のたましい

- (D群)
 紅□点
 一を聞いて□を知る
 無くて□くせ
 □方美人
 (E群)
 うり□つ
 □すじなわ
 □つ返事
 石の上にも□年

(城西川越中学校)

A
B
C
D
E

- 7 次のア～コの□に入る漢字の部首名を後から選び、番号で答えなさい(同じ番号を二度使ってはいけない)。

ア	くん	練をくりかえす
イ	げき	的な結末だ
ウ	しょう	がある
エ	しゆく	授業
オ	かい	速列車の旅
カ	か	学技術の発達
キ	しん	あるのみ
ク	い	の反対
ケ	たい	機する
コ	なつ	心に学ぶ

11	のぎへん	12	しんによう
13	れんが・れつか	14	ごんべん
15	ぎょうにんべん	16	りつとう
17	くがまえ	18	いとへん
19	こざとへん	20	りつしんべん

(慶應義塾中等部)

- 8 1～8の□にひらがなを一字ずつ入れて、それぞれの文を完成させなさい。(雙葉中学校)

1	最後の力をふり	。
2	秋晴れの空をふり	。
3	あきらめてすごすことひき	。
4	表情がびりつとひき	。
5	一面の白の中で赤い花がひき	。
6	悪いうわさをつち	。
7	新しいクラスの友人とうち	。
8	Yシャツのそでをたくし	。

① 次の傍線部の漢字の読みを書きなさい。カタカナは漢字に直しなさい。

- 1 広く世の中に**流布**する
 - 2 長い話に**閉口**する
 - 3 Aさんは仕事を**相棒**にする
 - 4 夏休みに**帰省**する
 - 5 一心**フラン**に勉強する
 - 6 野球の**シンゼン**試合を行う
 - 7 先生の家を**ハウモン**する
 - 8 **ソクリョウ**ウして地図を作る
- | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|

② 次の ー の ー 線部のこととは同じ使い方のものを後から選びそれぞれ記号で答えなさい

- 北風が吹いて寒い**そう**だ。
- ア あの人はいつも**幸せ**そうだ。
- イ 英語の勉強は**楽しい**そうだ。
- ウ 山登りは**つら**そうだ。
- エ 今にも雨が**降り**そうだ。
- 私**は**二度と君にそんなことは**言**うまい。
- ア 高価なのでだれも**買**うまい。
- イ かれの**言**うことに**ま**ちが**い**は**あ**る**ま**い。
- ウ そんなことは**み**んな**知**る**ま**い。
- エ 同じ**あ**や**ま**ちは**す**る**ま**いと**決**心した。
- 作文を先生に**ほ**め**ら**れる。
- ア 大量の**ゴミ**が**捨**て**ら**れる。
- イ 別の**解**答も**考**え**ら**れる。
- ウ お客さんが急に**来**られる。
- エ 子供の**こ**とが**案**じ**ら**れる。
- かれの**勇**気ある行動は**男**らしい。
- ア あの子の**し**ぐ**さ**は**か**わ**い**ら**し**い。
- イ かれは中学に**入**学する**ら**しい。
- ウ 明日は雨が**降**る**ら**しい。
- エ かれの態度は**い**かにも**学**者**ら**しい。
- 昔**あ**る**と**ころ**お**じ**い**さ**ん**が**い**た。
- ア 自信**あ**る**人**は**発**表**し**よ**う**。
- イ 正直**あ**る**こ**とが**大**切**だ**。
- ウ **こ**れ**は****あ**る**国**で**の**で**き**こ**と**だ
- エ **あ**る**べき**姿**に**も**と**す**必**要**あ**る。

(校成学園中学校)

③ 1～4のそれぞれの文の () にもっともふさわしい() とは後から選び、その番号を入れなさい。

- 1 君は世界一の美人だよ () 。
 ・この本はとてもためになるよ () 。
 はげます すすめる おだてる
- 2 遊びに行こうよ、太田君に () 。
 ・こまったな () 。
 つぶやく ささやく くちずさむ
- 3 入ろうとしたら、かぎがなくて () 。
 ・何度言ってもわからないので () 。
 あきれる おどろく あわてる
- 4 周囲の人々に気を () 。
 ・後から来た人に道を () 。
 まわす くぼる ゆずる

(雙葉中学校)

④ 次の ー の ー には身体に關係する漢字が入ります。() 内の意味になるように () に漢字一字を入れ、ことわざ・慣用句を完成させなさい。

- が利く (調べるの) にかんが働く ()
- に衣を着せない (思っていることを**す**げ**け**言**う**)
 喉から が出る (ほしくてたまらない ())
- 真綿で を締める (じわじわと苦しめる ())
- 思うことを言わねば ぶくれる (思っていることを言わないと**気**持**ち**が**悪**い)
- を借りる (実力が上の人を相手に自分の力を**試**す)
 鼓を打つ (おいしく**味**わ**う**)
- の上のたんこぶ (自分の活動の**じ**ゃ**ま**になる)
 に汗を握る (興奮したり心配したりする ())
 が回らない (金銭のやりくりが**ど**つ**に**も**つ**かない)

(立正中学校)

5 次の短歌を読んで、後の問いに答えなさい。

- A () 春のねむりをむさぼれる
目にはばからき庭の草かな
- B みちのくの 母の命を人目みん
一目見んとぞただにいそげる
- C 遠足の小学生徒有頂天に
大手ふりふり往来とほる
- D いつしかに春の名残となりけり
昆布干場のたんぼの花
- E つきよみの光を待ちて帰りませ
山路は栗のいがの多きに
- F 夏のかげ山よりきたり三百の
牧の若馬耳ふかれけり
- G ひまわりは金の油を身にあびて
ゆらりと高し日の ()
- H 鉢植に二つ咲きたる牡丹の花くれなゐ
深く夏立ちにけり
- J トーストの焼きあがりよく我が部屋の
空気ようよう夏になりゆく
- 1 一匹がさきだちぬれば一列につづきて
遊ぶ鮎の子の群
- 注1 むさぼれる＝満足するまでねむれた
- 注2 みちのく＝東北地方 作者の故郷は山形県
- 注3 つきよみ＝月の古い言い方
- 注4 三百＝広々とした たくさんの
- 注5 金の油＝ぎらぎらと輝く日光のたとえ
- 注6 さきだちぬれば＝先に立って移動すると
- 1 ()に入る言葉を次から一つ選び、記号で書きなさい。
- ア ぼんやりと イ なんとなく ウ こころよく
エ さびしくも オ あざやかに
- 2 線「母の命を一目見ん」の内容は次のどれがふさわしいですか。一つ選び、記号で書きなさい。
- ア 母のすばらしい姿を一目見たい
イ 母の尊敬できる姿を一目見たい
ウ 母の生きている姿を一目見たい
エ 母の働いている姿を一目見たい
オ 母の愛あふれる姿を一目見たい
- 3 ()に入る言葉を次から一つ選び、記号で書きなさい。
- ア すばらしさ イ まぶしきま ウ おほきさ
エ つよさかな オ ちひさきま
- 4 次の鑑賞文は、A、Jの短歌のどれにあたりますか。それぞれ一つずつ選び、記号で書きなさい。
- ア 自然の中で孤独に、ひっそりと生きる作者であるが、他人に対する温かい思いやりを心に秘めていることを、しみじみと感じさせてくれる歌である。
- イ 日ごころの生活のひとこまを感じさせてくれる歌である。それにして、わずかな温度の変化を季節の移り

6 次の文章は小泉和子による『台所道具いまむかし』の一部です。次の1～8の線をつけた漢字の読みをひらがなで、カタカナを漢字で書きなさい。

台所仕事に、ざるはなくてはならないものです。ひとつころプラスチック1 セイのざるが盛んに^{まか}出回り、2 ネダンもごく安く、丈夫なので、どこの家でも使いました。ところが、実際に使ってみると水きりが悪い上、熱に弱く、3 熱湯をかけたたりするとゆがんでしまっし、目に^こみが附着して汚くなりやすいなどで、最近はまだ竹のざるが4 フツカツしてきたようです。竹のざるは大量生産が出来ないため近ごろではねだんも高く、かびやすかったり、いたみやすかったりという欠点がありますが、水きりが長く、熱にも強く、それに何よりも緑あざやかで、切り口もみずみずしい新しい竹ざるの美しさは5 カクベツです。むしろ時々いたんで取り替えられるのも気持ちよいものです。こつした感覚はいかにも日本的で、古くなるほど美しくなる金属器などを6 貴ぶ西洋とはまるで逆です。新しい竹や削りたての檜や杉の木肌の、7 神々しいまでに清らかな美しさを喜ぶというのは、たしかに湿気^{しづけ}の多い日本の8 風土が生んだ感覚だと思えます。

1	
2	
3	
4	
ア	
イ	
ウ	
エ	

(共立女子中学校)

7 ()に入る言葉を次から一つ選び、記号で書きなさい。

ア すばらしさ イ まぶしきま ウ おほきさ
エ つよさかな オ ちひさきま

8 次の鑑賞文は、A、Jの短歌のどれにあたりますか。それぞれ一つずつ選び、記号で書きなさい。

ア 自然の中で孤独に、ひっそりと生きる作者であるが、他人に対する温かい思いやりを心に秘めていることを、しみじみと感じさせてくれる歌である。

イ 日ごころの生活のひとこまを感じさせてくれる歌である。それにして、わずかな温度の変化を季節の移り

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

(共立女子中学校)

① 次の傍線部のカタカナの部分の漢字で書きなさい。
(桐朋女子)

1	人工エイセイを打ち上げる。	
2	オウフクともタクシーを利用する。	
3	オランダな気候。	
4	ガイロジユの葉が色づく。	
5	この薬はよくキク。	
6	事業のキボを拡大する。	
7	太平洋をコウカイする。	
8	コロばぬ先のつえ。	
9	サカマク波を乗りこえる。	
10	本屋でシュウカンシを立ち読みする。	
11	罪をサバク。	
12	名人のジユクレンした技がさえる。	
13	クラブへの入部をススめる。	
14	ミクロン単位をセイミツに測定する。	
15	体を後ろにソらせる。	
16	田畑をタガヤす。	
17	市長としてのツトめを果たす。	
18	自由をハタジルシに戦う。	
19	勇気をフルって参加する。	
20	マグネシウムがネンシヨウする。	

② 次の漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。
光明 家路 夫妻 安易
画期的 縮む 覚める (川崎サレジオ)
染まる 善い 快い

③ 次の——線部の漢字の読み方を書きなさい。

1	夕日に映える。	
2	成長が著しい。	
3	楽器を奏でる。	
4	区画整理をする。	
5	初々しい花よめ姿を写す。	
6	店の入り口の商い中の札。	
7	彼の才能は際立っている。	
8	雪景色は風情がある。	
9	この道具はなかなか重宝だ。	
10	お互いに会釈を交わす。	

(鷗友学園 改題)

④ 次の一〜五は「口」に関することわざや慣用句です。それぞれの空らんに入さわしい語を 語群 の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 一 口 に乗せられる
- 二 口 たたきの 足らず
- 三 口 でけなして でほめる
- 四 口 に
- 五 口 ととは違つ

(洗足学園中学校)

一	
二	
三	
四	
五	

語群 ア手 イ腹 ウ心 エ針 オ車

5 次の1～5の条件に合う漢字をあとのア～ソの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- 1 「がんだれ」で総画数九画
- 2 「くさかんむり」で総画数八画
- 3 「こごとへん」で総画数十画
- 4 「ころもへん」で総画数十二画
- 5 「のぎへん」で総画数九画

(漢字)

ア	和	イ	灰	ウ	院	工	科	オ	厚
カ	郡	キ	草	ク	祐	ケ	複	コ	芽
サ	度	シ	病	ス	限	セ	補	ソ	陸

(鎌倉学園中学校)

1
2
3
4
5

6

次のa～eの熟語の説明をA群から記号で、また、それぞれの熟語と同じ種類のものをB群から数字で選びなさい。

- A 集合 a 集令 b 気絶 c 断念
 d 特急 e 新年

- (A) ア 下の字が上の字の目的となっているもの。
 イ 反対の意味の字を重ねたもの。
 ウ 長い熟語が省略されたもの。
 エ 上の字が下の字を打ち消しているもの。
 オ 上の字が下の字を修飾するもの。
 カ 上の字が主語、下の字が述語となっているもの。

キ 意味が似ている字を重ねたもの。

- (B)
- | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 美的 | 給食 | 公営 | 国連 | 無害 | 開閉 | 動作 | 曲線 |
| | | | | | | | 非常 |
| | | | | | | | 絵画 |

(湘南白百合学園中学校)

B	A
a	a
b	b
c	c
d	d
e	e

7

次の()の俳句の感想文として、それぞれ最も適当なものをア～カから選び、記号で答えなさい。

- 動くとも見えて畑打つ男かな
 五月雨や大河を前に家二軒
 雪とけて村いっばいの子どもかな
 荒海や佐渡に横とう天の川
 寝て聞けば上野は花のさわぎかな
 遠山に日のあたりたる枯野かな

- 去来 芭蕉 一茶 蕪村 五月雨 遠山 枯野 花のさわぎ 上野 寝て聞けば 荒海 佐渡 横とう天の川 雪とけて 村いっばい 子ども 動くとも見えて 畑打つ男

ア 大きな自然の力を前にして、小さな人間の心細さが感じられます。

イ ようやく春がやってきたよろこびがあふれています。ウ さびしく広がる風景の中に、はるかに見える風景がわずかにほっとしたあたたかさを感じさせます。

エ 家の中にいて、外のにぎわいを感じています。オ 荒々しく、雄大な風景がうたわわっています。

カ 広々としてのどかな、春の風景をうたっています。

(跡見学園)

8

次の()の慣用句の意味を後から選び、それぞれ記号で答えなさい。

先見の明

- ア 見えるように前を照らすこと。
 イ 用心して前に進むこと。
 ウ 理解力がありかしこいこと。
 エ 前もって見ぬくこと。

一日の長

- ア 他の人よりも技能などが少しすぐれていること。
 イ ごく短い間地位や権力をにぎること。
 ウ 毎日必ず良いことを行うように努力すること。
 エ 年長者に対する尊敬の気持ちを持つこと。

油を売る

- ア 苦労して学問をする。
 イ 商売をして家計を助ける。
 ウ 話しこんで時間をつぶす。
 エ ものごとに活気を与える。

立て板に水

- ア すらすらと話すこと。
 イ 努力がむだになること。
 ウ 話がすぐに通じること。
 エ 人の意見を聞かないこと。

頭角をあらわす

- ア もともと仲のよかった人と争いごとを起こす。
 イ すぐれた才能の持ち主であることが目立つようになる。
 ウ きびしく人を責めることで自分の立場を優位にする。

エ こごぞというときに本来の実力を示す。

(佼成学園)

① 次の文中のカタカナの語を漢字に直しなさい。

- 味方の勝利にカンセイがあがった。
- 新製品のセンメンをする。
- 故郷の景色がノウリをかすめた。
- 借金を全部セイサンする。
- 競技場にコツキがひるがえる。
- 科学の進歩にコウセキを残す。
- 機械のソウサの仕方を練習する。
- 相手の機嫌をソコねた。
- 対戦相手を知り、フルいたった。
- 卒業式がオコソかに行われた。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(明大明治)

② 次の——線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- 年月をへる。
- 作戦をねる。
- 重荷をおう。
- 不足をおぎなう。
- 手あみのセーター。
- カンシヤ状をもらう。
- ネットウを注ぐ。
- 銀行にヨキンする。
- コーヒーにサトウを入れる。
- ゼッタイゼッメイのペンチ。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(神奈川大学附属)

③ つぎの漢字に読みがなをつけなさい。

- 配給 居間 発揮 養生 冷める
- 作用 有益 保留 平屋 雨宿り

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(成城)

④ 次の——線部の語の読み方をひらがなで書きなさい。

- 1 著しくちがう。
- 2 品物を体裁よく包む。
- 3 潔い進退だ。
- 4 類似品に注意しよう。
- 5 おそろしい形相でおこる。
- 6 平和を唱える。
- 7 とちゅうで弱音をはく。
- 8 研いで光らせる。
- 9 十年來の知己だ。
- 10 強情で困る。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(学習院女子)

⑤ 「燃焼」「解禁」と、熟語の構造が同じものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 増減
- イ 敬意
- ウ 植樹
- エ 非常
- オ 救助

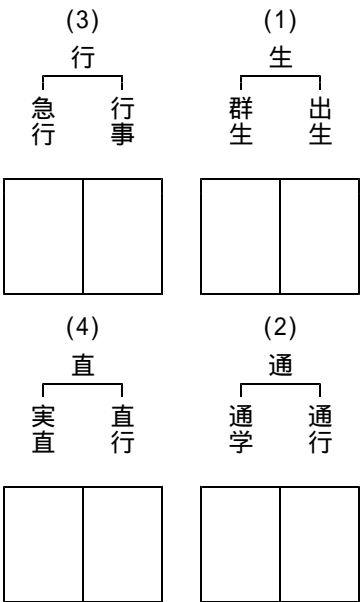
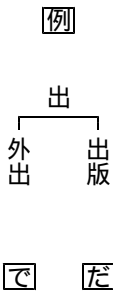
燃焼		解禁	
----	--	----	--

(女子学院中学校)

- 6 次の1～6の歌の 1、2、3、4、5、6の空欄に、春・夏・秋・冬のいずれかを入れて、歌を完成させなさい。(灘)
- 1 の風山よりきたり三百の牧の若馬耳ふかれけり
 - 2 枯れの森の朽葉の霜の上に落ちたる月の影の寒けさ
 - 3 草の茂みのなかに焼けトタンわずかに見えて人の住むらし
 - 4 あさみどり花もひとつに霞みつつおぼろに見ゆる夜の月
 - 5 木の間よりもりくる月のかげ見れば心づくしの は来にけり
 - 6 街をゆき子供こどもの傍を通るとき蜜柑みかんの香せりがまた来る

1
2
3
4
5
6

- 7 漢字には二つ以上の訓読みをもつものがあります。次の(1)～(4)に漢字について、熟語の中の意味を考え、それぞれにあてはまる訓読みを答えなさい。ただし、送りがなはつけなさい。(洛南中学)



- 8 次の1～3の問いに答えなさい。
- 問1 次の(1)～(3)の——線のカタカナと同じ漢字を書くものを、次の中から一つずつ選んで記号で答えなさい。

(1) 犬のヒンビョウ会に行く。

(2) 本をカンコウする。

(3) あの人はドリヨウが広い。

イ	投ビヨウ	イ	朝カン	イ	材リヨウ
ハ	ヒヨウ判	ハ	朝カン	ハ	要リヨウ
ロ	発ビヨウ	ロ	カン察	ロ	重リヨウ
ニ	ヒヨウ準	ニ	直カン	ニ	リヨウ立

- 問2 次の(1)～(3)の——線のカタカナを漢字に直したとき、その部首は何か。後のイ～チの中から一つずつ選んで、記号で答えなさい。
- (1) コウセキをほこらない。
- (2) 病がカイホウに向かう。
- (3) きげんをソコなう。
- イまだれ ロのぎへん ハこぎとへん
 ニりっしんべん ホてへん へいとへん
 トしたごころ チもんがまえ

(1)
(2)
(3)

- 問3 次の(1)～(4)の表現と最も意味の近いものを、後のイ～チの中から一つずつ選んで記号で答えなさい。
- (1) 前門のとら、後門のおおかみ。
雲泥うんでいの差。
- (2) 馬脚ばあしをあらわす。
- (3) 転ばぬ先のつえ。
- (4) イしっぽを出す。
- ロ とらぬたぬきの皮算用。
- ハ 石橋をたたいてわたる。
- ニ 月とすっぽん。
- ホ 飛んで火に入る夏の虫。
- へ 一難去ってまた一難。

(1)
(2)
(3)
(4)

- 9 次の の中にそれぞれ漢字一字を入れ、ことわざを完成させなさい。
- 橋をたたいてわたる
- あるたかはつめをかくす
- 百は一見にしかず
- かべにあり
- よりしょうご
- 立つ後をにこさず
- 8 人事をつくして 命を待つ
- 10 石の上にも 年
- 6 葉口はぐちににがし
- に短みづかしたすきに長し

6	1
7	2
8	3
9	4
10	5

(山脇学園中学校)

(大妻中学校)

① 次の各問いに答えなさい。

問一 次の 〃 の中に漢字二字の語を入れると、よく使われる四字の熟語になります。入れるのに適当な語を【語群】の中からさがし、漢字二字になおして答えなさい。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| (1) 文明 | (2) 教育 | (3) 精神 |
| (4) 国際 | (5) 創意 | (6) 風俗 |
| (7) 雨天 | (8) 正大 | (9) 一部 |
| (10) 大同 | ハクアイ | ジュンエン |
| シヨウイ | クフウ | シンゼン |
| シユウカン | シジユウ | ギム |
| | | カイカ |
| | | コウメイ |

(10)	(7)	(4)	(1)
	(8)	(5)	(2)
	(9)	(6)	(3)

問二 次の 〃 に続く最も適当な語をア〜コから選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|-----------|------------|--------|
| 思わず | やつと | ういついしい |
| 必ずしも | 菊といえば | ぷうんと |
| 感じかたが | そんなにやすやすと | |
| そんなことで | 雑草が | |
| ア、花嫁姿だった | イ、はびこっている | |
| ウ、へこたれるな | エ、秋を思う | |
| オ、こまやかだ | カ、雪が消えた | |
| キ、手をたたいた | ク、そうとは限らない | |
| ケ、花の香りがする | コ、できるだろうか | |

問三 次のA群の熟語と意味の似ている熟語を、B群の中から選び、漢字になおして答えなさい

- | | | | | |
|----|---------|---------|--------|----|
| A群 | 異国 | 休養 | 永久 | 死亡 |
| | 情勢 | 公平 | 光景 | 進歩 |
| | 祖国 | 同意 | | |
| B群 | ア、ここく | イ、たかい | ウ、ぜんしん | |
| | エ、たこく | オ、びようどう | カ、えいえん | |
| | キ、さんせい | ク、けいせい | ケ、せいよう | |
| | コ、じょうけい | | | |

問四 次の語の反対語(あるいは対応する語)を漢字で書きなさい。

- | | | | | |
|------|------|------|------|-------|
| 1 失敗 | 2 解散 | 3 理性 | 4 主観 | 5 理想 |
| 6 反対 | 7 原因 | 8 過去 | 9 単純 | 10 形式 |

10	7	4	1
	8	5	2
	9	6	3

(山脇学園中学校 改題)

② 次の各問いに答えなさい。

A 線(1)「修ギョウ」、(2)「シヨ悪」、(3)「根ゲン」、(4)「特チヨウ」のカタカナの部分と同じ漢字を書くものを、次の中から一つずつ選んで記号で答えなさい。

- | | | |
|----------|------------|-----------|
| (1) 修ギョウ | イ からのギョウ水 | ロ 会社のギョウ務 |
| (2) シヨ悪 | ハ 必死のギョウ相 | ニ ヨガのギョウ者 |
| (3) 根ゲン | イ シヨ心を忘れない | ロ シヨ国を旅する |
| | ハ シヨ信を述べる | ニ 敵しいシヨ分 |
| (4) 特チヨウ | イ エネルギー資ゲン | ロ 議長の権ゲン |
| | ハ 事故のゲン因 | ニ 写真のゲン像 |
| | イ 貴チヨウな資料 | ロ 好チヨウを保つ |
| | ハ 首チヨウの選挙 | ニ 得意の絶チヨウ |

(1)
(2)
(3)
(4)

B 次の各短文の【1】〜【4】に、生き物の名前をひらがなで入れて、文を完成しなさい。

- ・インフレで物価は【1】のほりだ。
- ・犯人は札束を【2】づかみにして逃げた。
- ・他人の意見を【3】のみにするのは危険だ。
- ・人の言ったことをただ【4】がえしに言い返すのは失礼だ。

① 次の短文中のカタカナを漢字に直しなさい。

(1) 罪人がシャクホウされる。
 (2) キントウに割り当てる。
 (3) 明治イコウ洋服が広まった。
 (4) 水害のフツキョウ作業をする。
 (5) このままでは敗北はヒツシだ。
 (6) ヘイセイをよそおう。
 (7) もとの文とタイシヨウする。
 (8) イチヨウの薬を飲む。
 (9) 家の通風とサイコウを考える。
 (10) ゲンカンの北海道を旅する。
 (11) 荷物をアズける。
 (12) 居間と食堂をカねる。
 (13) 先生の言葉を胸にキザむ。
 (14) 合格をイワう。
 (15) 高い山がツラなる。

(淳心学院中学校)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

② 次の各問いに答えなさい。

(1) 例にある「届く」と「届ける」の関係に合うような言葉をそれぞれ答えなさい。

例 届く——届ける

a () —— 見る b 決まる —— ()
 c 増える —— ()

(2) 次のア～エには上の言葉と下の言葉の関係が異なるものが一つあります。それを見つけて、記号で答えなさい。

a	b	c	
---	---	---	--

ア 春を——告げる
 イ アリも——持っている

ウ 知識が——ある
 エ カイコは——食べる

(3) 次の漢字を用い、 の四字熟語を完成させなさい。

未・万・自・聞・月・中・歩・進・化・夢・我
 変・賛・代・画

無 自 前 千 日

(穎明館)

無	自	前	千	日


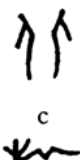
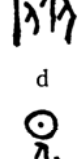

③ 次の意味を表すことわざまたは慣用句を書きなさい。

1、たいへん物事がつこつよく進むこと。
 2、失敗しないためには前からよく気をつけなければならぬ。
 3、聞く気のないものにはいくら言ってもむだだ。
 4、人間は育つ環境がいちばん大切だ。
 5、ひとりよがりので広い世間を知らないこと。
 6、どんなにつらいことでも長年しんばうすればむくられる。

(山脇学園中学校)

5	3	1
6	4	2

④ 「人」という字を組み合わせた甲骨文字(最古の漢字)とその説明文を読んで、後の問いに答えなさい。

a  b  c  d 

a 「比」は、ふたりの人が (A) 方向に並んだ姿です。ぴったり ミツチャクして並ぶことを「比」といいます。「比較」するにも、「タイヒ」するにもくっついて並ばねばなりません。

b 「北」は、ふたりの人が (B) 方向に背を向けて

6年 言語要素プリント 1 解答

- 1 (1) またたく
 (2) おりた
 (3) かかる
 (4) まう
 (5) とどろく

- 2 (1) キ
 (2) ケ
 (3) コ
 (4) ク
 (5) ウ

- 3 (1) ク
 (2) キ
 (3) オ
 (4) ウ
 (5) カ

- 4 (1) キ
 (2) セ
 (3) カ
 (4) ク
 (5) エ
 (6) オ
 (7) ア
 (8) コ
 (9) イ
 (10) サ

- 5 1 病
 2 留
 3 張
 4 回
 5 粉

- 6 復旧 保障 規格 支持 使節 厚生 形勢
 対象 格段 快適 質疑 誤差 会心
 登用 観衆 遺言 解禁 吸収 公表
 精通

- 7 (1) 初心
 (2) 講義
 待機
 縮小
 性別
 かえりみる

- 8 (1) いとなむ
 (2) そむく
 (3) つとめる
 (4) ささえる
 (5) かまえる

- 9 (1) ちぢ
 (2) こころよ
 (3) ひき
 (4) くちょう
 (5) こがい
 沿
 提供
 除草
 拳
 招待

6年 言語要素プリント 2 解答

- 情報
- 主張
- 容易
- 発揮
- 招待

- 1 出荷
- 2 和
- 3 標識
- 4 副作用
- 5 背
- 6 強調
- 7 門出
- 8 万能
- 9 気象
- 10 便乗
- 11 操
- 12 資源
- 13 快適
- 14 手編
- 15 一挙
- 16 競
- 17 欠
- 18 節約
- 19 速
- 20 順延

- A 3 洗練
- A 4 覚
- A 5 干
- A 6 地域
- B 7 資源
- B 8 負
- B 9 収
- B 10 探
- B 11 孫
- B 12 6
- B 創刊
- B ま・あいだ

4 (順に) かける・なる・つける・むく・きく

5 A 今年は暖冬だと言われている。
 B 菜の花だけが咲いている。
 C 山田君の投げたボールが、プールに落ちた。

- 6 1 済
- 2 紅潮
- 3 朗報
- 4 都度
- 5 意向

- 7 (1) ていあん
- (2) くとつてん
- (3) がんか
- (4) むら
- (5) ことわ
- (6) 能率
- (7) 保護
- (8) 報告
- (9) 賞賛
- (10) 険
- (11) 易
- (12) 備
- (13) 敗

- 8 (1) 1 工
- 2 オ
- 3 イ
- (2) 1 長さ
- 2 未完成
- 3 危険

6年 言語要素プリント 3 解答

① ア 異常 イ 開閉 ウ 複雑 エ 想像 オ 収支 カ 否定
 キ 欠席届 ク 祝辞 ケ 需要 コ 供給 サ 短縮 シ 公明正大
 ス 招待状 セ 貸(し)借(り) ソ 編 タ にな チ あば
 ツ ぎょうそう テ ね(り)なお(す) ト す

② (1) ウ (2) エ (3) オ (4) ア (5) イ

③ (1) あぶない (2) ゆっくり (3) 親しみ

④ 問一 1 効 2 値 3 展 4 難 5 欲
 問二 1 ア ウ 3 工 イ
 問三 1 旧 減 干 害
 問四 1 に が を の
 問五 1 ウ 2 イ 3 工 4 ク
 問六 1 かける 2 のむ 3 かける 4 たたない

⑤ イ ウ

⑥ 1 同 道 2 答 頭 3 短 単 4 戦 選

⑦ 1 展覧 2 清潔 3 興奮 4 刷新 5 燃焼

⑧ 漁師 拡張 省略 家屋 省
 かいが きんもつ さいく ほっさ きいと

6年 言語要素プリント 4 解答

- ①
- (1) 1と7、2と5（順不同、それぞれ組んで）
 (2) 1 非 2 無

- ②
- (1) 得策 (2) 供述 (3) 業績 (4) 往復 (5) 就任

- ③
- 1 オ 2 イ 3 エ

- ④
- 1 A 耳 B うで 2 ウ 3 イ 4 ア

- ⑤
- 1 口外 2 異同 3 除 4 肥 5 冷 6 びんじょう
 7 はつが

- ⑥
- (1) 1 エ・ク 2 カ・コ 3 イ・オ 4 ア・ケ 5 ウ・キ
 (2) 1 機 2 走 3 成

- ⑦
- (1) 1 がんやく 2 こうぎ 3 はいめん 4 はで 5 ちんたい
 (2) 1 里 2 采 3 己 4 失 5 袁
 (3) 1 羽 2 公 3 頂 4 棒 5 異

- ⑧
- (1) 軽重・けいちよう (2) 需給・じゆきゆう (3) 取捨・しゆしや
 (4) 可否・かひ (5) 難易・なんい (6) 玉石・ぎよくせき
 (7) 縦横・じゆうおう (8) 興亡・こうぼう

6年 言語要素プリント 6 解答

①

- 1 るふ
- 2 へいこう
- 3 あいぼう
- 4 きせい
- 5 不亂
- 6 親善
- 7 訪問
- 8 測量

②

- イ
- エ
- ア
- エ
- ウ

③

- 1・君は世界一の美人だよと()。
- ・この本はとてもためになるよと()。
- 2・遊びに行こうよと、太田君に()。
- ・こまったなと()。
- 3・家に入ろうとしたら、かぎがなくて()。
- ・何度言ってもわからないので()。
- 4・周囲の人々に気を()。
- ・後から来た人に道を()。

④

- 鼻
- 歯
- 手
- 首
- 腹
- 胸
- 舌
- 目
- 手
- 首

⑤

- 1 ウ
- 2 ウ
- 3 オ
- 4 ア
- エ
- イ
- ウ
- F
- エ
- C

〔注〕

- 1 春ののどかな情景を思い浮かべる。
- 2 入試問題によく使われる、危篤きとくの母に会うために帰郷する時を読んだ作品。
- 3 真夏の陽光を金の油に例え、太陽とひまわりの大きさを対照的に読んだ歌。
- 4 各文の中からキーになる言葉をヒントに、探していきます。
 アでは、「自然の中で孤独」「他人に対する温かい思いやり」など。イでは「日頃の生活」「温度の変化を季節の移り変わりでもらえる」など。ウは、「命あるもの」「雄大な風景」「夏のすがすがしい」など。Dは、「楽しそう」「暖かい陽光の中に大きな声が」「かわいらしい」などすべてヒントと言ってもいいくらいです。

⑥

- 1 製
- 2 値段
- 3 ねっとう
- 4 復活
- 5 格別
- 6 とんぱつ(たつと)
- 7 にっしゅう
- 8 ふっせい

6年 言語要素プリント 7 解答

- 1 衛星 2 往復 3 温暖 4 街路樹 5 効 6 規模
 7 航海 8 転 9 逆巻 10 週刊誌 11 裁 12 熟練
 13 勸 14 精密 15 反 16 耕 17 務 18 旗印
 19 奮 20 燃焼

- 2 こうみょう いえじ ふさい あんい かっきてき
 ちぢ さ ころよ そ よ

- 3 1 は 2 いちじる 3 かな 4 くかく 5 ういっい
 6 あきな 7 きわだ 8 ふぜい 9 ちようほう 10 えしゃく

- 4 一 オ ニ ア 三 ウ 四 エ 五 イ

- 5 1 オ 2 コ 3 ウ 4 セ 5 エ

- 6 a Aキ、B9 b A力、B4 c Aア、B7
 d Aウ、B1 e Aオ、B3

〔注〕

a 集合は、「あつまる」と「あう」で意味は、「あつまっていっしょになること」です。ですから、似た意味の漢字の組み合わせです。

b 気絶は、「気」が「たえる」意味です。絶は「たえる、たやす」という訓読みがあります。主語述語の関係となっています。

c 断念は、「あきらめる」という意味ですが、念(心の中の思い)を断つ(断ち切る)ということからきています。つまり、下から上へ「念を断つ」です。この問題の分け方では、「下の字が上の字の目的となっている」にあたります。

d 特急は、「特別急行列車」の省略した形です。略語と言われるもの。
 e 新年は、「新しい年」の意味で、「上の字が下の字を修飾するもの」です。

- 7 カ アイ オ エ ウ
 エ ア ウ ア イ

6年 言語要素プリント 8 解答

- ① 歓声 宣伝 脳裏 清算 国旗 功績 操作
 損 奮 敵
- ② 経 練 負 補 編 感謝 熱湯
 預金 砂糖 絶体絶命
- ③ はいきゆう いま はっき ようじょう さ
 さよう ゆうえき ほりゆう ひらや あまやぶ
- ④ 1 いちじる 2 ていさい 3 いさぎよ 4 るいじ 5 ぎょうそつ
 6 とな 7 よわね 8 と 9 ちき 10 じょうじょう
- ⑤ 燃烧…オ、解禁…ウ
 燃烧は似たもの同士の組み合わせ、解禁は下から上へ「禁を解く」。
- ⑥ 1 夏 2 冬 3 夏 4 春 5 秋 6 冬
- ⑦ (右、左の順に)
 (1) う、は (2) とお、かよ (3) おこな、い (4) ただ、なお
 (1) うまれる、はえる (2) とおる、かよう (3) おこいな、いく
 (4) ただちに、なおる(なおす)
- ⑧ 問1 (1) 八 (2) 八 (3) 口
 (1) 品評会 (2) 刊行 (3) 度量
 問2 (1) へ (2) ニ (3) ホ
 (1) 功績 (2) 快方 (3) 損
- ⑨ 問3 (1) へ (2) ニ (3) イ (4) ハ
- 1 石 2 能 3 聞 4 良 5 耳 6 帯
 7 論 8 天 9 鳥 10 三

6年 言語要素プリント 9 解答

1

- 問一 (1) 開化 (2) 義務 (3) 博愛 (4) 親善 (5) 工夫 (6) 習慣
- (7) 順延 (8) 公明 (9) 始終 (10) 小異

問二 キ カ ア ク エ ケ オ コ ウ イ

問三 他国 静養 永遠 他界 形勢 平等 情景 前進

故国 賛成

2

- 問四 1 成功 2 集合 3 感情 4 客観 5 現実 6 賛成 7 結果 8 未来(将来)・現在 9 複雑 10 内容

A (1) 口 (2) 口 (3) イ (4) 八

B 1 うなぎ 2 わし 3 う 4 おうむ

3

- (1) 績 (2) 拾 (3) 小 (4) 調 (5) 創 (6) 行 (7) 行 (8) 行 (9) 率
- (11) 績 (12) 義 (13) 小 (14) 静 欠 (15) 欠

〔注〕

- (2) 事態の收拾 (3) 文字の縮小 (4) 部分を強調 (5) 独創的な (7) 行樂地に行く
- (10) 軽率なふるまい (11) 功績を (12) 講義を受ける (14) 静物画 (15) 不可欠

4

- 問一 誤 盛 経 射 断
- 問二 (1) ア (2) ア (3) イ

〔参考〕

1 ロ 号 別 別

問三 エ キ ケ シ ヌ ナ

問四 イ エ オ ク ケ キ カ ウ ア

6年 言語要素プリント 10 解答

- ①
- (8) (1) 釈放
 - (9) (2) 均等
 - (10) (3) 以降
 - (11) (4) 復旧
 - (12) (5) 必至
 - (13) (6) 平静
 - (14) (7) 对照
 - (15) 連

- ②
- (1) a 見える b 決める c 増やす
 - (2) ア
 - (3) 回進月歩 千変万化 前代未聞 自画自賛 無我夢中

- ③
- 1、順風満帆(とんとんびょうし・渡りに船) 2、石橋をたたいてわたる
 - 3、馬の耳に念仏 4、氏より育ち 5、井の中の蛙(大海を知らず)
 - 6、石の上にも三年

- ④
- ア 密着 対比 敵 敗北 不吉 旗印 隊商 頭 衆
 - 労働

イ A 一(同)、B 逆、C ぞむ(く)

ウ 5

エ 3・4・6

「二つ以上の漢字とその意味が合わさって成立した漢字」は、会意文字のことを言っている。

- ⑤
- (7) (1) こがらし (2) すずき (3) 木の芽 (4) 蟬 (5) 天の川 (6) ひばり
 - (8) 雪(雪の原) (9) ぼたん(白ぼたん) (10) 菊

- ⑥
- (1) いた (2) べんぜつ (3) ひかく (4) ぜせい (5) とな (6) こうとう
 - (7) かおく (8) さ (9) こ (10) こうみょう (11) じきひつ
 - (12) こうじょう (13) たいしゅつ (14) みもの (15) きちょう